

わたしたちの夢や願い ふるさととの未来を紡ぐ

第七次総合計画後期基本計画がスタート

第七次総合計画後期基本計画のまちづくりがいよいよスタートしました。

合併直後の平成17年4月にスタートした第七次総合計画は、平成17年度から平成26年度までの10年間の「基本構想」、5年間の「基本計画(前期)」、毎年度見直し・修正を行う「実施計画」および「中期財政計画」で構成されています。今回、前期基本計画が平成21年度で終了したため、社会情勢の変化などを踏まえ、基本構想の一部について改定。市議会での議決を経て、平成22年度から平成26年度までの後期基本計画を策定しました。

総合計画はまちづくりの指針

総合計画は、長期的な視野から高山市の将来の姿を描きながら、その実現に向けて計画的な行財政運営を行うため、まちづくりの方向性を総合的、体系的にまとめたもので、市の最上位計画として市政運営のもっとも基本となる指針です。



清見中学校の新3年生。後期基本計画が終了する5年後には成人式を迎えます

基本理念

住みよいまちは、行きよいまち

連携

人と自然
男性と女性
市民と行政

個性

人
地域
都市

成熟

市民意識
人口構造
経済社会

都市像

やさしさと活力にあふれるまち「飛驒高山」

土地利用

計画的な土地利用をめざして

「やさしさ」

のあるまちをめざして

地域福祉
児童福祉
高齢者福祉
障がい者福祉
健康・保健・医療

「すみよさ」

のあるまちをめざして

自然
景観
道路・交通
住宅・公園
上・下水道
環境・衛生
情報
防災

「にぎわい」

のあるまちをめざして

観光
農業
林業
畜産業
商業
工業
労働

「ゆたかさ」

のあるまちをめざして

学校教育
生涯学習
スポーツ
文化
地域

地域別目標

個性あるまちをめざして

丹生川地域、清見地域、荘川地域、一之宮地域、久々野地域
朝日地域、高根地域、国府地域、上宝・奥飛驒温泉郷地域

構想の着実な推進をめざして

市民参画、行財政運営